

2022年5月ドミニカ（共）内政、外交、経済定期報告

在ドミニカ共和国日本国大使館

1 内政

（１）１７日、ドミニカ通信庁（INDOTEL）は、送電会社（ETED）による国内の光ファイバーネットワークの稼働により、国内２６の市町村及び１３６の地区にてインターネットの接続性が改善される旨発表。

（２）２６日、アビナデル大統領は、ペデルナレス県カボ・ロホの観光開発プロジェクトに係るインフラ整備の開始を発表。

（３）３１日、厚生省疫学総局は、ドミニカ（共）の新規感染者が前日比で３０７名増加し、累計症例数５８４，０２９名（うち死者４，３７７名、治癒者５７７，５４９名）となった旨発表。

（４）３１日付「ディアリオ・リブレ」紙は、カマチョ副検事総長が、ダニーロ・メディーナ前大統領が検察庁行政特別汚職検察局（PEPCA）の捜査を受けていると明らかにした旨報道。

2 外交

（１）中国

ア １１日、Zhang Run 当地中国大使は、当地「Peravia Motors」社を訪問し、中国自動車メーカー「BYD」の電気自動車を試乗。

イ １９日、当地中国大使館は、同大使館のツイッターを通じ、サント・ドミンゴ国家特別区役所に対するゴミ収集車供与を発表。

ウ ２５日付「リスティン・ディアリオ」紙は、Zhang Run 当地中国大使による習近平国家主席が執筆した書籍「貧困からの解放」（Liberarse de la Pobreza）に関する寄稿文を掲載。習近平国家主席の資質及び思想について言及。

（２）ハイチ

ア ２日付「リスティン・ディアリオ」紙は、２０２１年、ハイチにて９４９件の誘拐事件が発生した旨報道。

イ ４日、アルバレス外務大臣は、ハイチで誘拐されていたカルリティン・ギジェン・タティス在ハイチ・ドミニカ（共）大参事官が解放されたと発表。

ウ ９日、ドミニカ（共）当局は、８日、ドミニカ（共）からハイチのポルトープランスへバスで移動していたトルコ人含む１２人がハイチのギャンググループに誘拐されたと発表。

エ １１日、外務省はツイッターを通じて、国民に対し、特別な理由を除き、ハイチへの渡

航を控えるよう呼びかけを実施。

オ 12日、ハイチでの誘拐事件の多発を受け、ドミニカ（共）からハイチへのバス運行を行う3社が旅客輸送業務を停止。

（3）その他

ア 8日、アビナデル大統領は、ロドリゴ・チャベス・コスタリカ大統領就任式典に出席。

イ 8日、アビナデル大統領は、ドゥケ・コロンビア大統領と二国間会談を実施。

ウ 13日、アビナデル大統領は、ハリファ・アラブ首長国連邦大統領の逝去を受け、自身のツイッターを通じ、アラブ首長国連邦の国民への連帯の意を表明。

エ 17日、米移民税関捜査局は、米刑務所に服役を終えた49人のドミニカ（共）人をドミニカ（共）へ送還。

オ 22日、アビナデル大統領は、ジュネーブで開催された第75回WHO総会に出席、ドミニカ（共）が世界において最も死者数が少ない国として、いち早い観光の再開を可能にしたコロナ対策措置に係るグッド・プラクティスを発表。

カ 23日、アビナデル大統領は、ダボスで開催された世界経済フォーラムの年次総会（ダボス会議）に出席。観光再活性化のための政府の取り組みに係る同大統領の関与を強調。

3 経済

（1）9日、世界銀行グループは経済企画開発省とともに、今後5年間のドミニカ（共）の開発優先事項に対する支援を定めた新たな国別パートナーシップ枠組を発表。

（2）12日、アビナデル大統領出席のもと、ドミニカ（共）は、カナダの空港会社3社（エア・カナダ・バケーション、サンウィング・グループ、エア・トランザット）と夏期・冬期の航空便の接続を強化するための3つの協力協定に署名。

（3）13日、ドミニカ（共）ホテル観光協会（ASONAHORES）と国連開発計画（UNDP）は、持続可能製、暴力防止、観光分野における障がい者の参加を促進するための協定に署名。

（4）30日、アビナデル大統領は、モンテ・クリスティ県マンサニョー開発に係る天然ガスプラント及び発電所2基の入札の終了を発表。